

7階東病棟

診療科

整形外科、形成外科

病床数

51床

看護師数

看護師長1名、副看護師長3名、看護師29名

主な疾患

整形外科：変形性関節症、前十字靭帯損傷、反復性膝蓋骨脱臼、大腿骨頭壊死症、外反母趾、腱板断裂、脊柱管狭窄症、腰椎ヘルニア、側弯症、多発外傷、手指切断、骨折、骨腫瘍・軟部腫瘍
形成外科：多指症、口唇口蓋裂、乳がん術後、リンパ浮腫

治療・検査

整形外科では外科的治療が主であり術後リハビリを行い術前のADLを落とさないよう支援を行っています。主な外科的治療として、人工膝関節置換術、前十字靭帯再建術、半月板切除・縫合、人工股関節置換術、脛骨骨切り術、人工足関節置換、術外反母趾矯正術、脊椎椎弓形成術、腱板断裂手術などを行っています。創外固定術、皮弁術など交通外傷に対する治療も多く行われています。骨腫瘍や軟部腫瘍に対し放射線療法や化学療法も行っています。

形成外科ではリンパ管吻合術や乳癌術後の乳房再建術などの外科的治療を行っています。

手術後をはじめ、合併症の予防を予防するための看護や、リハビリが効果的に行えるよう支援しています。リハビリはもちろん理学療法士や作業療法士の方々が中心的役割を担いますが、患者さんと一番長く一緒にいる私たち看護師は、リハビリを日常生活行動の中に取り入れ、その気持ちを支えながらADL支援を行っています。

看護師や理学療法士、作業療法士、退院支援部門と合同カンファレンスを行い生活に必要なサービスや環境を検討し自宅生活に移行できるよう取り組んでいます。

パートナーシップナーシングシステムを導入しており常にダブルチェックで安全・安心な看護を提供しています。

看護の特徴



↑合同カンファレンスの様子

↓創外固定での治療



リハビリの様子→

